

授業科目名	教育行政論
科目番号	CB24181
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春AB秋AB 火5
担当教員	古田 雄一
授業概要	本講義では、教育の営みを支える教育行政や教育政策に注目し、現状や課題、あり方について考える。関連する諸テーマを幅広く扱いながら、それらに関する基本的な知識を学ぶとともに、教育行政・政策を捉え、分析する視点を養うことを目指す。講義を中心に、適宜意見交換なども織り交ぜながら進める。
備考	対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学の基礎的体系的知識 教育学における総合的思考力 教育学に関する先導的発信力
授業の到達目標（学修成果）	（1）日本の教育行政に関する基本的事項について説明できる。 （2）日本の教育政策の諸領域（テーマ）における主要な課題や論点について説明できる。 （3）教育行政・政策を分析する視点を援用し、昨今の教育改革の課題や今後のあり方について考察できる。
授業計画	本講義では、教育の営みを支える教育行政や教育政策に注目し、現状や課題、あり方について考える。関連する諸テーマを幅広く扱いながら、それらに関する基本的な知識を学ぶとともに、教育行政・政策を捉え、分析する視点を養うことを目指す。講義を中心に、適宜意見交換なども織り交ぜながら進める。 第1回 イントロダクション / 教育行政について学ぶということ 第2回 公教育の目的・機能、社会的意義 第3回 教育政策はどうつくられるのか？（1）教育立案・実施過程の全体モデル 第4回 教育政策はどうつくられるのか？（2）中央教育行政 第5回 教育政策はどうつくられるのか？（3）地方教育行政 第6回 教育制度はどのようになっているのか？（1）教育を受ける権利と教育制度 第7回 教育制度はどのようになっているのか？（2）就学義務と不登校、外国人児童生徒の教育保障 第8回 教育制度はどのようになっているのか？（3）学校の設置者と学校体系 第9回 教育課程はどのようにつくられるのか？（1）学習指導要領と教科書制度 第10回 教育課程はどのようにつくられるのか？（2）教育と政治的中立性、教育課程の伝達 第11回 教育を支えるリソースはどう確保されるのか？（1）教育実践を支えるリソース 第12回 教育を支えるリソースはどう確保されるのか？（2）教育財政のしくみ 第13回 教育を支えるリソースはどう確保されるのか？（3）教育財政とエビデンス 第14回 教育政策をどう評価するのか？（1）学校評価、教員評価 第15回 教育政策をどう評価するのか？（2）教育政策評価やエビデンスの事例 第16回 現代学校教育の課題と教育行政・政策（1）子どもの貧困と教育費 第17回 現代学校教育の課題と教育行政・政策（2）保護者・地域住民の参加 第18回 現代学校教育の課題と教育行政・政策（3）子どもの権利、子どもの参加 第19回 現代学校教育の課題と教育行政・政策（4）こども家庭庁の動向 第20回 まとめと総括

履修条件	特になし。
成績評価方法	課題レポート（60%）、授業内でのコメントシートや提出課題（40%）に基づき評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義（70%）、意見交換（20%）、振り返り（10%） 授業に関連する文献・資料を読むこと。
教材・参考文献・配付資料等	指定教科書は使わず、資料を配布する。 主な参考文献は以下の通りである。授業内でも適宜紹介する。 1．横井敏郎『教育行政学 第4版 子ども・若者の未来を拓く』八千代出版、2022年。 2．村上祐介・橋野晶寛『教育政策・行政の考え方』有斐閣、2020年。 3．大桃敏行・背戸博史編『日本型公教育の再検討 自由、保障、責任から考える』岩波書店、2020年。 4．松岡亮二編著『教育論の新常識』中央公論新社、2021年。
オフィスアワー等（連絡先含む）	まずはメールにて連絡してください。 furuta.yuichi.gp@u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	自身の考えをときに相対化し、視野を広げながら柔軟に学んでいきましょう。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	教育行政、教育政策、公教育、子どもの権利、自由と平等、民主性と専門性、エビデンス、教育改革